

令和2年度 第3回 印西市社会教育委員会議 会議録要旨

- 1 開催日時 令和3年3月10日（水）  
午後2時00分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 印西市立中央公民館 5階 講堂
- 3 出席委員 伊東委員、篠塚委員、恩田委員、川村委員、三城委員  
菊地委員、桜井委員、小林委員、小岩委員、松崎委員  
篠原委員
- 4 欠席委員 浅田委員、二宮委員、河村委員、石川委員、平石委員
- 5 事務局の出席 鈴木課長、清水係長、唐澤係長、山崎主任主事、渡邊主任主事
- 6 内容 報告  
(1) 令和2年度事業報告について  
  
議事  
(1) 令和3年度事業計画（案）及び予算（案）について  
(2) 社会教育関係団体情報交換会について  
(3) 印西市社会教育関係補助金交付要綱の改正について  
(4) その他
- 7 会議録要旨

事務局 事務局より報告（1）について説明

委員 成人記念式典の記念品について、対象者1,110名に対して記念品を交換したのが216名とのことであった。皆様の近くで未だ交換を行っていないという方がいれば、交換に行ってもらおうよう声をかけていただきたい。

事務局 今回の成人式の対象の方に対し新型コロナウイルスの状況を見ながら、何か集まれる機会を設けていきたいと考えているので、その際に渡すことができればと考えている。

委員 オンラインで文化祭ができたのはよい企画であった。各団体には慣れていない方もいたと思うが、生涯学習課が撮影に赴いたのか。

事務局 今回に関しては、それぞれに作成したものをいただいて生涯学習課でホームページに掲載した。

委員 新型コロナウイルス感染症という状況において、実施形態が変わった中、事

業を実施していただき、ありがたかった。

事務局 事務局より議事（１）について説明

委員 来期は今期とどう違うのか。来期に新しく取り組むこと等、方針があればお聞きしたい。

事務局 来年度も新型コロナウイルス感染症の状況がわからないため、状況を見ながら事業を進めていきたい。新しい事業をやりたくてもできない状況であるため、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら事業を組んでおり、予算もそれに応じたものとしている。

委員 後援申請について、件数はどうであったか。

事務局 件数は出していないため、お答えできない。団体側で感染症対策を取り、定員を半数にしたり、会場定員の半数にする等しているため、それらの計画を確認したうえで後援の承認を行った。

委員 ゼロではなく、申請があり、認められているということでよいか。後援後、報告書を提出している。その中で、実際に職員が観に来ると言われていたが、1度もなかったと思う。報告書はもちろん提出するが、教育委員会が確認するということはあるのか。

事務局 確認については、必須というわけではなく、そういったこともあるという記載であると思う。今年度に関しては、実施した件数はない。

委員 後援申請をした団体がどのような団体で、いつ活動をしているか、社会教育委員が見学する機会があれば私たちとしても学びとなる。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら一考願いたい。

事務局 新型コロナウイルス感染症の状況もあるが、事務局も確認に伺うことについても検討していきたい。

委員 生涯学習ガイドの発行について、（資料１ページ）令和３年度は３月末に３００部納品予定、その上に８月に１６９部作製とあるが、これはどういうことか。

事務局 例年、生涯学習ガイドは８月の発行であった。その時に当該年度の予算を使用し、８月に配布していた。８月の配布では遅いのではないかと、ということから、今年度は８月に職員が印刷し、各施設１部にして配布した。今、納品予定のものについて、予算を使用し来年度分として配布できるようにしている。来年度以降は４月に配布できるよう作製するようにした。

- 委員 令和4年の3月末の納品ということではないか。
- 事務局 令和2年度については、令和3年度の生涯学習ガイド作製に予算を使っている。3月に300部納品を予定しており、それは令和3年度分として4月以降に配布する。令和3年度分の予算は令和4年度分を作製するために使用することとなる。
- 委員 発行部数は変わらないということか。
- 事務局 今年度は8月に発行していた分は169部ということで、各施設1部の配布となってしまったが、来年度分からは300部発行する。
- 委員 新型コロナウイルス感染症の影響ということか。
- 事務局 新型コロナウイルス感染症の影響ではない。8月の発行について、4月から事業を行っているため、8月の発行では遅くないかと考え、4月に配布できるように見直したもの。
- 議事（1）について承認を頂いた。
- 事務局 事務局より議事（2）について説明
- 委員 1回で全てを行おうとすると、焦点がぼけてしまう。全団場でやろうとすると密になってしまう。1回ごとにテーマを絞り、そのテーマに興味がある団体を選定し行ったほうが良いかと思う。4月から新しい体制となるため、改めて検討していければよいのではないか。
- 委員 開催前に、各団体が回答してくれたアンケートに対しての回答を送付してもらいたい。市としての考えや方向性について示してもらいたい。いかがか。
- 事務局 開催を予定している旨の通知は行う予定である。その際に、アンケートへの回答についてはどのように回答するかを含めて検討したい。
- 委員 他の団体がどういう問題を持っているのか、興味があるのではないかと思う。回答は別としても、それを提示するだけでも情報交換会に対して興味を持ってもらえると思う。問題点だけでもいいので、報告書を作って、事前に送付してもらえようようにしていただきたい。
- 事務局 検討していきたい。
- 委員 事前に配布して、一読して参加していただいたほうが良いと思う。ぜひ事前配布をお願いします。

議事（２）について承認を頂いた。

事務局 事務局より議事（３）について説明

委員 県の補助金そのまま団体にくるということか。これまでは８０パーセントという制限があったが、県の補助金についてはこのような制限がない。県から出た金額分については自己負担は考えなくともよいということか。

事務局 現在、県からの補助金は４０万円出ている。例えば、団体の事業費が４０万円であったとき、これまでの要綱では８０パーセントの３２万円までであったものが、県からの４０万円についてはそのまま交付できるように改正を行った。

委員 市民アカデミー卒業生が団体を作り活動しているが、そのような団体はこの補助金の対象となるのか。

事務局 こちらについては、表に記載されている事業に対しての補助金となる。先ほどのような団体については、対象事業となっていないため、この要綱の対象外となる。

委員 市民アカデミーの卒業生たちが事業を行うような場合、どのような補助金があるのか。もしくは全くの独自の活動となるのか。

事務局 市民アカデミーを卒業した方々が活動している団体がいくつかあるが、今回の要綱の対象とはならない。市民アカデミーを進めていくにあたり、行政に頼ってしまうと今回の補助金のように対象経費や補助率等の制限が生じる。なるべく行政に頼らず、自分たちの力で会を運営し、自由に活動していけるようにと話している。

委員 ここにある助成を受けている団体について、申請をして助成を受けているのか、市から助成を行うようにしたのか。これから新しい事業を起こしたいという方々もいると思う。そういった方々の受け皿はあるのか。

事務局 経緯については合併前からのものであることもあり、個々の詳細はお答えできない。さわコミや家庭教育などは市で行っている事業であり、もともとは独立した要綱を持っていた。それを一つにまとめて現在の形になった。これら以外に社会教育を目的として活動しているということであれば、活動内容を見させていただき、生涯学習課に相談していただくという形になるかと思う。

委員 毎年度、予算を計上し、会計報告を行っているということか。

事務局 補助対象経費を確認し、申請があり、実績報告や領収書などで確認を行って

いる。

委員 青少年相談員については、もともと千葉県が行ったもので、現在では県内全市町村に広がっている。行政からのものであり、県知事・市長から委嘱されている。県から人数によって補助金が交付されている。

委員 社会教育活動を行い、それが広がっていくようになったものに対して行政が補助金を交付するようになる流れかと思う。補助金があるから活動を行う、補助金のための事業ということは問題となる。

委員 活動に使用しなかった分は返還するのか。持ち越すことはできないか。

事務局 年度ごとに精算となり、返還していただく。

委員 令和3年4月1日に施行するということとなると、今後どのような流れになるのか。

事務局 この後、財政課、総務課等と協議し決裁を行い告示となる。告示の後、教育委員会で報告をする。

委員 施行は間に合うのか。

事務局 令和3年度の申請については改正後の内容を適用できるよう進めていきたい。

議事（3）について、承認を頂いた。

事務局 議事（4）その他について  
生涯学習施設の整備について。令和2年度について、文化ホール・大森図書館大規模改修工事が完了し、2月12日に引き渡しを受け、現在開館に向け準備を行っている。また、小林公民館大規模改修工事の設計業務を実施した。令和3年度について、ふれあい文化館大規模改修工事が始まり、また、本埜公民館大規模改修工事設計業務委託を実施する予定である。

委員 中央公民館の状況どうか。

事務局 印西市公共施設適正配置アクションプランという計画があり、市内公共施設についての今後の計画である。この中で、中央公民館については、検討中ではあるが、建物の老朽化が進んでいることもあり、木下駅周辺での集約化が計画されている。場所は特定していないが、その方向性で検討しているところである。

委員 集約とは中央公民館のほか、どこがあるのか。

- 事務局 中央保健センターとの集約化が検討されている。
- 委員 デキシー跡地に建てるというわけではないのか。
- 事務局 場所については未定であり、木下駅周辺という計画である。
- 委員 ニュータウンを中心に住民が増えてきている。外資系の企業も進出してきていることから、外国人の住民が増えていくと思う。今後の見通しとして、生涯学習・文化をどのように発展させていくのか。以前、4 駅圏構想というものがあったと思うが、そのような駅を中心とした文化の発展を目指していくというような構想があるのか、住民に対してどのように文化・学習の場を提供していくのか、指針があれば教えていただきたい。
- 事務局 駅圏構想は今はない。文化の振興ということで、計画ではあるが、中央駅前のUR跡地に300席のホールを建設する計画がある。
- 委員 ニュータウン中央駅の北側か。
- 事務局 南側の地域交流館の付近である。既に更地になっているが、こちらに保健センターや出張所等が入る複合施設を建設する計画となっている。
- 委員 外資系の会社が増えていることから外国籍の住民が増えてきているかと思うがどうか。
- 事務局 そのあたりのデータは今ない。

以上

#### 使用した資料

令和2年度 第3回 印西市社会教育委員会議 資料

令和2年度 第3回 印西市社会教育委員会議の会議録は、事実と相違ないので、当会は、これを承認する。

令和3年3月25日

署名委員 篠塚 俊満